

名古屋市環境未来探検隊 活動報告

作成：清水 環 平成 24 年 10 月 14 日(日)

1. 活動場所 亀山市向井 F1 の森
2. 活動日 平成 24 年 8 月 27 日 (月)
3. 参加者 瀧口、瀧口あ、岡島、桜井、裏川、松永、大石、小坂、南条、蒲田、水野、
清水 12 名
研修者 北村、上林
参加者 30 名

4. 活動内容

名古屋市教育委員会主催エコ・フレンドシップ事業は愛・2005 年の地球博をきっかけに始まったものです。第 7 回となる今年は 5 つのチームに分かれて様々な学習、体験会を行っています。F1 の森を訪れたのは「森とふれあい、守る活動を学び、植林活動にとりくむ」というテーマでやってきた小・中学生+OB 高校生 30 名「チームウッディ」の皆さん。企画・引率された藤井先生の要望は「できるだけの体験を」ということでした。

向井 F1 の森には赤、青、白の杭を目印とした 3 つの主要ルートがあり、各ルートを歩く間、目につくものをきっかけにして森林の風の班長が参加者のみなさんにお話をします。(スギとヒノキの区別、シカの被害、暗い森明るい森など。) 出発点で早速チェンソーによる迫力満点の伐木を見学、頂上では昼食前後にノコギリ間伐、植樹、バードコールづくりをしました。

後日アンケート結果をいただきましたが、「心に残っているものは？」という問いに対し 86% が木の間伐体験と答え、以下バードコール植樹 60%、植樹 50%と続きます。

森林の風としても、今後森林環境教育を手掛けるうえでよい経験になりました。

5. 活動状況写真

バードコールづくり



枯れている木にも役割がある。



竹ポットを植樹



元気な声で「チーム、ウッディ！」と言った瞬間

